

議会運営委員会

辻村 岳瑠 委員長コメント

茅ヶ崎市議会と三重県議会を視察し、議会改革の参考とする知見を得ました。茅ヶ崎市議会では、議会による事務事業評価の導入可能性を探るため、具体的な実施状況やメリットデメリットを調査し、慎重な議論が必要という結論となりました。三重県議会では、マニフェストサイクルの取組を視察し、外部有識者による評価と議会改革推進会議の存在が、透明性向上と改革推進に有効であることを確認しました。視察で得られた知見を、今後の議会改革につなげていきます。



環境厚生委員会

植松 健一 委員長コメント

委員会付託案件として今年4月から実施予定の「こども誰でも通園制度」のための条例を審議し全員一致で可決したほか、所管事務調査として「市立病院の事業報告」を市立病院長及び病院事務部より受け調査しました。また、政策課題である「プラスチックをはじめとするごみのリサイクルについて」をまとめ、市長に政策提言を行いました。各委員協力の下、2年間にわたり研究した成果は今後の当局の政策に必ず生かされるものと確信しています。



総務文教委員会

鈴木 弘 委員長コメント

最初に富士宮市埋蔵文化財センターと芝川会館の収蔵室の現地調査を行いました。

状況確認の後、令和6年7月にまとめられた「文化財保存管理調査報告」の説明を受けました。収蔵機能については既存施設を活用するなど、博物館全体の規模を見直し、これまで学校の空き教室などは保存管理上利用できないとしていましたが、これらの利用も考えるということでした。

その後富士根交流センターの条例制定について審査し、可決しました。



産業都市委員会

村瀬 旬 委員長コメント

所管事務調査として、富士宮市における金属製品製造業について(株)アマダ富士宮事業所に伺い調査しました。DXを活用した製造改革の推進、生産体制の強化及び環境への配慮も行われていて、新しい工場運営の形態として見識を深めることができました。

